

2 今回の標準案では情報伝達エラー防止と実際に薬を服用する患者さんの視点を考慮して、処方せんへの記載方法が内服薬を含め、基本的には1回量を記載することが提案されています。処方せんの記載が1回量となったとき、指示書との関係についてお尋ねします。

問7 処方せんの記載が1回量（施用毎）になった場合、指示書との関係での問題は生じますか？

①問題は生じない

②問題が生じる

問題点を具体的に記述して下さい

③その他（

）

問8 処方せんの記載が1回量（施用毎）になった場合になった場合に指示書との関係以外で何か問題となる点がありますか？

①問題はない

②問題がある

問題点を具体的に記述して下さい

③その他（

）

問9 処方せんの記載方法に関するヒヤリ・ハット事例があったら記載して下さい

ご協力ありがとうございました

【情報部門への調査票】

調査回答者名（情報処理部門）： _____

連絡用メールアドレス： _____

1 現行システムについてお尋ねします。

問1 貴院の処方コンピュータシステムのベンダー等についてお答え下さい
ベンダー： _____

ソフトウェア： _____

問2 貴院の病院情報システムの更新（予定）時期についてお答え下さい
次期のシステム更新の時期は _____ 年 _____ 月頃を予定している

問3 医薬品マスタについてお答え下さい

- ①採用薬（院外処方専用も含む）のみ登録している
②薬価基準に掲載されている医薬品については全件登録されている
③その他（ _____ ）

問4 持参薬への対応状況についてお答え下さい（複数回答可）。

- ①現行システムでは持参薬について対応できていない
②持参薬については薬剤部門システムで対応している
③持参薬については看護門システムで対応している
④その他（ _____ ）

問5 実施入力についてお答え下さい。

- ①注射薬のみ実施入力を行っている
②内服・外用・注射全てについて実施入力を行っている
③実施入力は全く実施されていない
④その他（ _____ ）

問6 散剤処方時のメイン単位の定め方についてお答え下さい。

- ①全ての散剤について製剤量をメイン単位、原薬量をサブ単位で統一している
②薬剤によってメイン単位、サブ単位の定め方は異なる
③その他（ _____ ）

問 14～問 20 の処方を行おうとした場合の貴院のシステムでの処方せん記載についてお答えください

問14 高血圧症の患者にニルバジピンを原薬量として 4mg を 1 日 2 回に分けて朝食後と夕食後に服用するよう処方したい。ニルバジピン錠 2mg の製品（製品名：ニバジール錠 2mg）を 14 日分処方する場合、処方せんにはどのように印字されますか？

問15 レードーパ製剤のレボドパを原薬量として 1250mg を 1 日 4 回に分けて朝 500mg、昼・夕・眠前は 250mg ずつ服用するよう処方したい。レボドパカプセル 250mg の製品（製品名：ドパストンカプセル（250mg））を 14 日分処方する場合、処方せんにはどのように印字されますか？

問16 関節リウマチの患者にメソトレキサートを原薬量として 6mg を 1 週 1 クールで、初日から 2 日目にかけて 12 時間間隔で服用し、残りの 5 日間は休薬とする処方をしたい。メソトレキサートカプセル 2mg（製品名：リウマトレックスカプセル 2mg）の製品を 2 クール分（実投与日数は 4 日）処方する場合、処方せんにはどのように印字されますか？

問17 心不全の患者にジゴキシンを原薬量として 0.15mg を 1 日 3 回に分けて毎食後に服用するよう処方したい。ジゴキシン散 0.1% の製品（製品名：ジゴシン散 0.1%）を 14 日分処方する場合、処方せんにはどのように印字されますか？

問 18 偏頭痛の患者にスマトリプタンを原薬量として 50mg を発作時に服用するよう処方したい。スマトリプタン錠 50mg の製品（製品名：イミグラン錠 50）を 5 回分処方しようとした場合、処方せんにはどのように印字されますか

問 19 ステロイド抗炎症薬のジクロフェナクナトリウム坐薬 50mg（製品名：ボルタレンサポ 50mg）を 1 回 1 個で 1 日 2 回、朝と夕の使用で 7 日分を処方しようとした場合、処方せんにはどのように印字されますか

問 20 鎮痛消炎剤のインドメタシンクリーム（製品名：インテバンクリーム）適量を左肩に 1 日 5 回塗布で、25g 入チューブを 2 本（総量 50g）処方しようとした場合、処方せんにはどのように印字されますか？

3 今回の処方せん記載に関する標準案についてお尋ねします。

問 21 標準案では情報伝達エラー防止と実際に薬を服用する患者さんの視点を考慮して、処方せんへの内服薬の記載を以下のように1日分から1回分に変更することを提案しています。

標準案記載ルール（内服薬）

分量は1回服用量で記載し、用法・用量として1日服用回数、服薬時期、服用日数を記載する

＜現行記載例＞		＜標準案による記載例＞	
セフゾン（100mg）	3 Cap	セフゾン（100mg）	1 Cap
メジコン（15mg）	3錠	メジコン（15mg）	1錠
セルベックス（50mg）	3 Cap	セルベックス（50mg）	1 Cap
分3 毎食後 5日分		1日3回 毎食後 5日分	

この標準案記載ルールについてどのように思われますか？

- ①妥当である
②ほぼ妥当である
③妥当ではない

理由（ ）

- ④その他（ ）

問 22 内服散剤の記載方法（案）についてお答え下さい。

標準案では内服散剤の記載について記載する名称とその量について以下のように提案しています。

標準案記載ルール（内服散剤、内服液剤）

散剤、液剤の薬名としては特定できる3要素（ブランド名＋剤形＋規格）を記載する。分量は製剤量（薬剤としての重量；薬価基準収載に使用されている単位）で記載する（原薬量では記載しない）

＜記載例1：フェニトイン（製品名：アレビアチン散10%）を原薬量として1日量300mgを1日2回に分けて朝夕食後で処方する場合＞

アレビアチン散10% 1.5g
 1日2回 朝夕食後 28日分

＜記載例2：バルプロ酸ナトリウム（製品名：デパケンシロップ（5%））を原薬量として1日量200mgを1日2回に分けて朝夕食後で処方する場合＞

デパケンシロップ（5%） 2mL
 1日2回 朝夕食後 28日分

この標準案記載ルールについてどのように思われますか？

- ①妥当である
②ほぼ妥当である
③妥当ではない

理由（ ）

- ④その他（ ）

問 23 外用薬（坐薬等）の記載についてお答え下さい。
標準案では外用薬（坐薬等）に記載について以下のように提案しています。

標準案記載ルール（坐薬等 1 回の使用量が正確に記載できる剤形の外用剤の場合）坐薬等の分量は 1 回量を記載し、用法（回数・使用時期・使用方法）、投与日数を記載して最後に全量を記載する

<記載例 1> : ボルタレンサポ 50mg 1 個
1 日 2 回 朝夕食後 5 日分（全 1 0 個）

<記載例 2> : フランドルテープ 40mg 1 枚
1 日 1 回 朝 胸部又は腹部に貼付 3 0 日分（全 3 0 枚）

この標準案記載ルールについてどのように思われますか？

- ①妥当である
②ほぼ妥当である
③妥当ではない
理由（ ）
④その他（ ）

問 24 外用薬（外用液、軟膏等）の記載方法についてお答え下さい
標準案では外用薬（うがい薬等の外用液や軟膏等）に記載について以下のように提案しています。

標準案記載ルール（外用液、軟膏等）外用液剤の分量は 1 回量を記載し、用法（回数、使用時期、使用方法）、投与日数を記載して最後に全量を記載する

<記載例 1> : インタール点眼液 1 ～ 2 滴
1 日 4 回 朝昼夕就寝前 両目点眼 全 2 本

<記載例 2> : インテバンクリーム 適量
1 日 4 回 朝昼夕就寝前 左肩に塗布 全量 5 0 g

この標準案記載ルールについてどのように思われますか？

- ①妥当である
②ほぼ妥当である
③妥当ではない
理由（ ）
④その他（ ）

問 25 処方せんの記載方法を標準案に統一した場合の問題点についてお答え下さい（複数回答可）

- ①過渡期の対応をどのようにとるかが問題である
②コンピュータシステムの対応が必要である
③コンピュータシステムの変更に費用がかかるのは困る
④標準案は実施すべきではない
⑤その他（ ）

問26 標準案に統一された場合には Do 処方機能等が使用できなくなると考えられますがそれについて
どのような対応方法が考えられますか？

問 27 標準案を実行するとした場合に工夫すべき点についてご記載下さい

問 28 処方せんの記載方法について何かご意見等ございましたらご記載下さい。

ご協力ありがとうございました。

(2) アンケート調査結果概要

【病院へのアンケート調査】

1 現在の処方せんの記載方法についてお尋ねします。問3～問9迄は手書きで処方せんを記載する場合を想定してお答え下さい。

問1 現段階で入院患者の場合の看護師への指示書の記載についてお答え下さい。

	内科	小児科
①常に1回量を記載している	3	7
②1回量を記載するが多い	5	1
③1日量で記載を行っている	83	74
④その他()	7	8

問2 注射薬処方せんの記載についてお答え下さい。

	内科	小児科
①注射薬の専用処方せんは存在しない	7	7
②注射薬処方せんは施用単位で記載を行っている	64	72
③注射薬処方せんも内服薬同様分量は1日量で記載を行っている	18	5
④その他()	8	5

2 今回の処方せん記載に関する標準案についてお尋ねします。

問10 標準案では情報伝達エラー防止と実際に薬を服用する患者さんの視点を考慮して、処方せんへの

内服薬の記載を以下のように1日分から1回分に変更することを提案しています。

標準案記載ルール(内服薬)

分量は1回服用量で記載し、用法・用量として1日服用回数、服薬時期、服用日数を記載する

＜現行記載例＞		＜標準案による記載例＞	
セフゾン(100mg)	3Cap	セフゾン(100mg)	1Cap
メジコン(15mg)	3錠	メジコン(15mg)	1錠
セルベックス(50mg)	3Cap	セルベックス(50mg)	1Cap
分3 毎食後 5日分		1日3回 毎食後 5日分	

この標準案記載ルールについてどのように思われますか？

	内科	小児科	薬剤部	情報部
①妥当である	23	18	23	11
②ほぼ妥当である	30	23	25	22
③妥当ではない	24	34	39	24
④その他()	21	14	18	13

問11 内服散剤の記載方法(案)についてお答え下さい

標準案では内服散剤の記載について記載する名称とその量について以下のように提案しています。

標準案記載ルール(内服散剤、内服液剤)

散剤、液剤の薬名としては特定できる3要素(ブランド名+剤形+規格)を記載する

分量は製剤量(薬剤としての重量;薬価基準収載に使用されている単位)で記載する(原薬量では記載しない)

<記載例1:フェニトイン(製品名:アレビアチン散10%)を原薬量として1日量300mgを1日2回に分けて朝夕食後で処方する場合>

アレビアチン散10% 1.5g

1日2回 朝夕食後 28日分

<記載例2:バルプロ酸ナトリウム(製品名:デパケンシロップ(5%))を原薬量として1日量200mgを1日2回に分けて朝夕食後で処方する場合>

デパケンシロップ(5%) 2mL

1日2回 朝夕食後 28日分

この標準案記載ルールについてどのように思われますか?

	内科	小児科	薬剤部	情報部
①妥当である	24	13	15	15
②ほぼ妥当である	24	15	21	15
③妥当ではない	28	43	47	24
④その他()	19	17	20	18

問12 外用薬(坐薬等)の記載についてお答え下さい。

標準案では外用薬(坐薬等)の記載について以下のように提案しています。

標準案記載ルール(坐薬等1回の使用量が正確に記載できる剤形の外用剤の場合)

坐薬等の分量は1回量を記載し、用法(回数・使用時期・使用方法)、投与日数を記載して最後に全量を記載する

<記載例1> : ボルタレンサポ50mg 1個

1日2回 朝夕食後 5日分(全10個)

<記載例2> : フランドルテープ40mg 1枚

1日1回 朝 胸部又は腹部に貼付 30日分(全30枚)

この標準案記載ルールについてどのように思われますか？

	内科	小児科	薬剤部	情報部
①妥当である	50	50	49	24
②ほぼ妥当である	32	21	29	25
③妥当ではない	8	9	15	13
④その他()	7	10	11	9

問13 外用薬(外用液、軟膏等)の記載方法についてお答え下さい

標準案では外用薬(うがい薬等の外用液や軟膏等)の記載について以下のように提案しています。
標準案記載ルール(外用液、軟膏等)

外用液剤の分量は1回量を記載し、用法(回数、使用時期、使用方法)、投与日数を記載して
 <記載例1>: インタール点眼液 1~2滴

1日4回 朝昼夕就寝前 両目点眼 全2本

<記載例2>: インテバンクリーム 適量

1日4回 朝昼夕就寝前 左肩に塗布 全量50g

この標準案記載ルールについてどのように思われますか?

	内科	小児科	薬剤部	情報部
①妥当である	45	39	45	27
②ほぼ妥当である	41	32	33	21
③妥当ではない	7	16	19	17
④その他()	3	2	9	6

問14 処方せんの記載方法を標準案に統一した場合の問題点についてお答え下さい(複数回答可)

	内科	小児科	薬剤部	情報部
①過渡期の対応をどのようにとるかが問題である	75	64	90	62
②コンピュータシステムの対応が必要である	79	61	84	23
③コンピュータシステムの変更に費用がかかるのは困る	41	16	69	52
④標準案は実施すべきではない	12	19	19	16
⑤その他()	15	8	19	18

問15 標準案が実施された場合に看護師への指示書の記載に与える影響についてお答え下さい(複数回答可)

	内科	小児科
①処方せんの記載と指示書の記載が統一されることになるのでよい	33	38
②処方せんの記載が指示書に与える影響は小さい	30	32
③処方せんの記載が指示書に与える影響は大きい	25	13
→影響を与える場合について具体的にご記入下さい。		
④その他()	8	10

問16 入院患者への薬剤投与の用法を時間指示型に変更する施設があるようですが、この点についてご意見をお聞かせ下さい。

	内科	小児科
①時間指示型にすることが望ましい。	12	9
②注射は時間指示型でよいが、内服薬は時間指示型にすべきではない。	43	52
③時間指示を行うべきではない。	6	8
④その他()	34	20

(3) 劑形別処方記載例

処方例についての記載事項の種類及びその件数

【内用錠剤の処方例】

降圧薬のニルバジピンを原薬量として 4mg を 1 日 2 回に分けて朝食後と夕食後に服用するよう処方したい。ニルバジピン錠 2mg の製品（製品名：ニバジール錠 2mg）を 14 日分処方する場合、処方せんにはどのように記載されますか？

【研究班の想定した現状（1日量）での記載例】

ニバジール錠 2mg 2錠 分2 朝夕食後 14日分

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

ニバジール錠 2mg 1錠 1日2回朝夕食後 14日分

薬品名	件数
ニバジール（2）	35
ニバジール(2mg)	19
ニバジール錠 2mg	11
ニルバジピン（2）	9
ニバジール錠（2mg）	8
ニバジール 2mg	7
ニルバジピン（2mg）	3
ニバジール錠（2）	2
ニバジール	1
ニハルジピン（2mg）	1
ニルバジピン	1
ニルバジピン錠 2mg	1

分量	件数
2T	68
2錠	16
2tab	5
4mg	3
(2T)	2
2C	1
II	1
4T	1
記載なし	1

日数	件数
14日分	35
/14T	9
14TD	7
(14)	5
14T	5
14日	5
×14日分	4
/14TD	2
/14Td	2
／14日分	2
×(14)	2
×14T	2
14	1
G14TD	1
/14ds	1
×14days	1
×14TD	1
×14日	1
○月○日から14日間	1
14d	1
14Td	1
⑭	1
g14TD	1
g14TH	1
g14TM	1

【内用錠剤の不均衡分割の場合の処方例】

パーキンソン病治療薬のレボドパを原薬量として 1250mg を 1 日 4 回に分けて朝 500mg、昼・夕・眠前は 250mg ずつ服用するよう処方したい。レボドパカプセル 250mg の製品
製品名：ドパストンカプセル (250mg) を 14 日分処方する場合、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

ドパストンカプセル (250mg) 2カプセル 1日1回朝食後 14日分
ドパストンカプセル (250mg) 1カプセル 1日3回昼・夕食後及び就寝前 14日分

薬品名	件数
ドパストン(250)	21
ドパストンカプセル(250)	18
ドパストンカプセル(250mg)	12
ドパストンカプセル 250mg	10
ドパストン(250mg)	7
ドパストン Cap (250mg)	3
ドパストン	2
レボドパカプセル(250)	2
レボドパカプセル 250mg	2
ドパストン cap(250)	1
ドパストンカプセル250	1
ドパスミン (250mg)	1
レボドパ	1
レボドパ(250)	1
レボドパカプセル (250mg)	1

薬用量	件数
5 cap	19
5 cap	19
5T	18
5錠	7
5Cap	5
1250mg	4
4T	3
2c	2
3c	2
4c	2
5カプセル	2
(以下は件数1件のもの)	
(5C), 1250mg(2. 1. 1. 1) 5c,	
2Cap, 3Cap, 4Cap, 4錠, 5CAP	
5P, 5Tab,	

用法	件数
(2-1-1-1)	5
/2-1-1-1	2
1×M	2
4X (2-1-1-1)	2

(以下は件数1件のもの)

3x 昼、夕、眠前、4x 食後・眠前 (2-1-1-1), 分3 アサ 2T ヒル 1T 夕 1T, 分4 朝、昼、夕食後、眠前 2-1-1-1, (2:1:1:1) 分4: 朝昼夕食後30分ねる前, (2-1-1), (2-1-1-1) 分4 毎食後・眠前, (2-1-1-1) 4x N,vds, /1 回朝 3x 昼夕眠前, (2-1-1-1) で投与 1日4回 毎食後 眠前, /(2,1,1,1), /2-1-1-1 眠前 (2T-1T-1T-1T) 4x, (500-250-250-250), (朝 2T、昼 1T、夕 1T、寝る前 1T), /3x(2-1-1), /4x (2T-1T-1T-1T), /4x (2-1-1-1), /N.vds(2-1-1-1), /N2x1 (2-1-1-1), /分4 2-1-1-1 /朝 2cap、昼、夕、眠前各 1cap, /朝 2Cap。昼 1cap。夕 1Cap。眠前 1Cap, 2-1-1-1, /分3 (0-1-1-1) (昼、夕、眠前), [不均等][2-1-1-1-0-0] 朝 2 昼 1 夕 1 寝る前 1, /分4 (アサ 500、ヒル 500、夕 500、眠前 250), +眠前 (2.1.1.1), 分4 (2,1,1,1), /分4 (2-1-1-1) (朝、昼、夕、眠前), 1日4回 (2, 1, 1, 1), 1日4回 (2-1-1-1), 1日4回 毎食後・寝る前 朝 2カプセル 昼 1カプセル 夕 1カプセル 寝る前 1カプセル, 2-1-1-1 で投与 分4 毎食後と眠前, 3xn(朝 2cap 昼夕 1cap)+就寝前 1cap, 3x (朝 2、昼 1、眠前 1), 毎食後と寝る前 朝 2 昼 1 夕 1 寝る前 1カプセル, 4x (アサ 500、ヒル、夕、vds250), 4x 朝 2cap、昼 1cap、夕 1cap、寝前 1cap, 4x n+vds (2-1-1-1), 4x(2-1-1-1), 4x(2-1-1-1)/, 4x(500-250-250-250), 4x(朝 2C、昼、夕、眠前各 1C), 4x1 (2-1-1-1), 4x1 1-1-1-1c 毎食後と眠前, 4x1 (朝食後 2カプセル-昼食後 1カプセル-夕食後 1カプセル-眠前 1カプセル), 4xN.Vds 2-1-1-1, 4x1 (朝 2cap-昼 1cap-夕 1cap-眠前 1cap で投与), 4xN, VDS(2-1-1-1), 4回: 毎食後・寝る前, 4xn、vds (朝 2C、昼 1C、夕 1C、眠前 1C), 4x 朝 2C, 昼夕、眠前各 1C, 4x (2-1-1-1) 朝 2cap、昼 1cap、眠前 1cap と付記することになるかと思ひます。 nde,vds (2T-1T-1T-1T), 分3 朝後 2C 昼後 1C、夕後 1C、眠前 1C, 朝 2/昼 1/夕 1/眠前 1 4xN 寝前, 朝 2Cap 昼・夕・眠前 1Cap (2,1,1,1), 朝 2T 昼 1T 夕 1T 眠前 1T, 朝食後 2Cap、昼食後 1Cap 夕食後 1Cap、眠前 1Cap, 分x4 朝後 2T 昼後 1T 夕後 1T 眠前 1T, 分4 (2-1-1-1), 分4 (朝、昼、夕) 食後・眠前 不均等 (2錠/1錠/1錠/1錠), 分4 (朝 2、昼 1、夕 1、眠前 1), 分4 朝 (2錠) 昼(1錠) 夕(1錠) h.s.(1錠), 分4 朝昼夕 (2-1-1-1) 食後と眠前, 分4 毎食後、眠前 2-1-1-1, 分4 (3食後、眠前) (2-1-1-1), 分4 (アサ 2Tab、ヒル 1、夕 1、寝前 1), 分4、朝 2T、昼 1T、夕 1T、眠前 1T, 分4: 朝昼夕食後 30分ねる前, 分4x: 朝後 2C、昼後 1C、夕後 1C、眠前 1C 1 毎食後すぐと寝る前 (朝 2C、昼 1C、夕 1C、寝る前 1C) ,

【休薬期間のある医薬品の処方例】

抗リウマチ薬メソトレキサートを原薬量として6mgを1週1クールで、初日から2日目にかけて12時間間隔で服用し、残りの5日間は休薬とする処方をしたい。メソトレキサートカプセル2mg（製品名：リウマトレックスカプセル2mg）の製品を2クール分（実投与日数は4日）処方する場合、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例（下線分は実際には曜日を記載）】

リウマトレックス（2mg） 1カプセル
1クールとして3回（初日9時，21時，翌日9時）服用
全2クール分

または

リウマトレックス（2mg） 1カプセル
初日1日2回午前9時，午後9時 2日分（投与実日数）
リウマトレックス（2mg） 1カプセル
翌日1日1回午前9時 2日分（投与実日数）

【回答処方記載例】

リウマトレックス（2）3CAP

1×火曜日 20：00 2×水曜日 8：00、20：00 2週間分

リウマトレックス（2） 2CAP 1日2回 朝・夕 2日分（月曜日に服用）

リウマトレックス（2） 1CAP 1日1回朝 2日分（火曜日に服用）

リウマトレックスカプセル2mg 3cap □日より12時間毎に1カプセルずつ内服

リウマトレックスカプセル2mg 3cap ☆日より12時間毎に1カプセルずつ内服

リウマトレックス（2）1C ○月×日より12hrごとに 3回

do △月□日より12hrごとに 3回

リウマトレックスカプセル（2mg）、1回1カプセル、X月X日朝より12時間毎に計3回内服。その後休薬の後X月X+7日朝より再度12時間毎に計3回内服し終了。

リウマトレックスカプセル2mg 6T

分2 ○時 ○時 ×4日分

（○月○日、○月○日、○月○日、○月○日）

リウマトレックス カプセル 2mg 3カプセル
 医師指示 2回 M-3 週に1回 朝1夕1翌朝1 服用

- ①リウマトレックス(2) 3c 1×M (2日間、5日間休薬)
 ②do 処方(内服日を設定)

「原薬量として6mgを1週1クール」の意味が分かりませんので、回答いたしません。

リウマトレックスカプセル(2)

1週目 月曜8時1T 20時1T 火曜 8時1T 水様-日曜 休薬
 2週目 月曜 8時1T 20時1T 火曜 8時1T 水様-日曜 休薬

メソトレキサート(2) 2C 分×2 2日分(初日、2日目のみ) 12時間あけて内服。
 5日間休薬 上記1クールとして2クール 4日分処方

リウマトレックス(2) 3C/2×(8°, 20°) 月・火 2クール(3/27, 28, 4/3, 4)

リウマトレックス(2) 第1-2日 3Cap 分3 12時間ごと内服 第3-7日 休薬
 第8-9日 3Cap 分3 12時間ごと内服 第10-14日 休薬
 合計6Cap

リウマトレックス(2mg) 3cap
 月曜朝から12時間毎に3回内服 2週分(計6cap)

リウマトレックス(2mg) 6カプセル 2×(8時、20時) (月、火のみ内服) 4日分

- 1) リウマトレックス(2) 2T/1-0-1 (12時間毎) 2T (毎週月曜)
 2) リウマトレックス(2) 1T/1-0-0 2T (毎週火曜)・・・として処方し
 「リウマトレックスは毎週月曜の朝から火曜の朝まで12時間毎に1錠ずつ3回飲んで、以後水曜
 から日曜まで飲まないで下さい」とコメントを入れる。

リウマトレックス(2) 2C/W 2W分 たとえば (月曜20時、火曜8時)

Rp1 リウマトレックスカプセル2mg 2C [分2]1日2回 朝夕食後 1日 毎週木曜日
 Rp2 リウマトレックスカプセル2mg 1C [分1]1日1回 朝食後 1日 毎週金曜日

* 開始日1週間後の日付けで同じ処方をもう1つ記載 * この薬剤は曜日指定で処方しています

リウマトレックスカプセル 2mg 3C 医師の指示通り(全量) 1回1錠 12時間毎に服用
服用開始日：2007年4月10日(火)

リウマトレックスカプセル 2mg 3C 医師の指示通り(全量) 1回1錠 12時間毎に服用
服用開始日：2007年4月17日(火)

リウマトレックス (2mg) 3C 分3

木曜日朝1C 木曜日夜1C 金曜日朝1C 12時間間隔 2回分

リウマトレックス 6mg 0' 12' 24'

リウマトレックス 6mg 0' 12' 24'

(例えば初日→月曜、2日目火曜とする)

Rp1 リウマトレックスカプセル 2mg 2C

1日2回 時間指定 2日 8時、20時、月曜のみ

Rp2 リウマトレックスカプセル 2mg 1C

8時 火曜のみ 1日1回 時間指定 2日

リウマトレックス (2mg) 2cap 2×(2)12時間毎(朝夕) 月曜日

リウマトレックス (2mg) 1cap 1×(2)朝 火曜日

リウマトレックスカプセル(2)

一月一日(月)朝1T、一月一日(月)夕1T、一月一日(火)朝1T、

一月一日(月)朝1T、一月一日(月)夕1T、一月一日(火)朝1T、

メソトレキサート(2) 6mg

2×M.A(12時間隔)(月火に内服)・・・曜日指定 G14TD

リュウマトレックス(2mg) 3cap

1日目(月曜日)朝1、夕1 2日目(火曜日)朝1/週

2週間分(6cap)

リウマトレックス(2mg) 1cap ×6回分

(月曜日 9時、21時、火曜日 9時に服用すること)

リウマトレックス(2mg) 12時間ごと3回

5日間休薬して再度12時間ごと3回

リウマトレックス 12mg 2×1/4日分
 (朝、夕) ただし○日、○日、○日、○日服用のこと

リウマトレックスカプセル 4mg (20) 火
 ” 2mg (20) 水 x 2週

リウマトレックスカプセル(2) 1カプセル 分1 3回分
 (第1週目 12時間ごとに3回)

リウマトレックスカプセル(2) 1カプセル 分1 3回分
 (第2週目 12時間ごとに3回) よいのは日付を指摘する

- 1) メソトレキサート (2) 3Cap/12時間毎、2回 (__月__日)
 - 2) メソトレキサート (2) 3Cap/12時間毎、2回分 (__月__日)
-

メソトレキサート(2) 3錠/週
 月曜日 朝、夕食後と火曜日朝食後のみ服用 4週間分

リウマトレックスカプセル(2mg) 6cap
 分2 12時間毎 内服は第1,2日及び第8,9日のみ

リウマトレックス(2) 3T/W 月8時 20時 火8時 /2W

リウマトレックスカプセル 2mg 3C 1Cずつ、12時間毎に3回服用してください。
 (朝8時、夕20時、朝8時) 毎週月曜日に開始し2週間分

リウマトレックス(2) 3cap×2クール
 12時間毎3回服用 1週間毎

リウマトレックスカプセル(2) 3C
 3x(12時間毎) 1週1クール 2クール分 (処方経験なし)

リウマトレックスカプセル (2mg) 1Cap 6回分 医師の指示通り

リウマトレックスカプセル (2mg) 2cp
 分2 朝・夕 2日分 ○○曜日に服用
 リウマトレックスカプセル (2mg) 1cp
 分1 朝 2日分 ○○曜日に服用

リウマトレックスカプセル(2) 2C
 2 x 8時 20時4TD 内服日を記入 3/27.28 4/3.4

リウマトレックス(2) 3T 12時間間隔で1週2日(連続)/2週間分

Rp1 リウマトレックス2mg 2CA
 2回：朝・夕食後 2日 月曜日に内服
 Rp2 リウマトレックス2mg 1CA
 1回：朝食後 2日 火曜日に内服

リウマトレックスカプセル2mg 1cap

(何月何日何次服用)

(処方箋6枚書く)

このような複雑に思われる場合、具体的な時間を書くと思います。

リウマトレックスカ[°]セル(2mg)3Tを1回分として、以下の予定で内服させたいのをお願いします。

1クール ○月△日 朝8時夕8時 ○月×日 朝8時夕8時 ○月□日

以下投薬なし ○月○日 ○月+日 ○月◎日 2クール目も同じように書きます。

リウマトレックスカ[°]セル(2) 2P

2×1 2T 水曜の朝夕

リウマトレックスカ[°]セル(2) 1P

1×1 2T 木曜の朝 金曜から火曜まで休薬。

再度次の週の水木に服薬のこと。2クール分としてトータル12カ[°]セル処方。

リウマトレックスカプセル2mg 1cap,

3月1日朝9時 1cap, 3月1日夜9時 1cap, 3月2日朝9時 1cap,

3月8日朝9時 1cap, 3月8日夜9時 1cap, 3月9日朝9時

リウマトレックスカプセル2mg 2CP

毎週火曜日・・・1日2回朝・夕食後 4日分

リウマトレックスカプセル2mg 1CP

毎週水曜日・・・1日1回朝食後 4日分

リウマトレックスカ[°]セル2mg 1.5錠

分2 12h毎 (月、火のみ投与) ×4日分

リウマトレックスカプセル 2mg (2P) 毎週月曜日朝夕
(1P) 毎週火曜日朝 2日分

リウマトレックスカプセル 2mg 3c/朝. 夕. 朝
毎週○△曜日に内服 2日分

リウマトレックス Cap 2mg 2C
分2 12時間隔 毎週1回金曜日 4日分

リウマトレックス Cap 2mg 1C
分1 朝 毎週1回土曜日 4日分

リウマトレックスカプセル (2mg) 2T

1日2回 医師の指示通り3日分 月曜日の朝夕と火曜日の朝服用 ←フリーコメントで入力する。

リウマトレックス(2) 2T

2×朝夕 12時間毎/2T 毎週(月)

リウマトレックス(2) 1T

1×朝 /2T 毎週(火)

リウマトレックス Cap (2mg) 2C

分2 : 朝夕食後30分 2日 毎月曜日に服用 医師の指示通り

リウマトレックス Cap (2mg) 1C

分1 : 朝食後30分 2日 毎火曜日に服用 医師の指示通り

1クール ○月△日午前8時午後8時 リウマトレックス 1c

○月×日午前8時 リウマトレックス 1c

2クール ○月○日午前8時午後8時 リウマトレックス 1c

○月□日午前8時 リウマトレックス 1c

リウマトレックス (2) 6T

3x(12hr 毎) 2TD(○/x回、○/○日)

リウマトレックス (2) 6T

3x(12hr 毎) 2TD(x/○回、x/x日)

リウマトレックス (2mg) 3Tab/週 (初日、2日目にかへ12時間毎に1Tab内服 3~7日目は休薬)

2週分

リウマトレックス(2) 4mg 12時間毎 1日分 ○月○日から

リウマトレックス(2) 2mg 12時間毎 1回分 ○月○日から と繰り返す

①リウマトレックス (2) 30

1 x M 2日分5日間休薬

② do 処方 (内服日を設定)

【内用・散剤の処方例】

心不全治療薬のジゴキシンを原薬量として 0.15mg を 1 日 3 回に分けて毎食後に服用するよう処方したい。ジゴキシן散 0.1% の製品（製品名：ジゴシן散 0.1%）を 14 日分処方する場合、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

ジゴシן散 0.1% 0.05g 1日3回 毎食後 14日分

薬品名	件数
ジゴシן散(0.1%)	37
ジゴキシן散(0.1%)	16
ジゴシן散	8
ジゴキシן	6
ジゴキシן散	5
0.1%ジゴキシן散	5
ジゴシן 1000 倍散	2
ジゴシן散 0.1% (1mg/g)	2
(以下は件数 1 件のもの)	
ジゴシן散 0.1, ジゴシן(0.1)	
ジゴキシן (0.1)	

分量	件数
0.15mg	40
0.15g	12
1.5g	6
150mg	4
0.15mg 力価	4
0.15	2
(以下は件数 1 件のもの)	
0.15mg (ジゴキシןとして), 0.15g(0.15mg)	
5mg, 1.5mg, 0.45mg, 0.45(g), (0.15mg)	
0.15g (力価として 0.15mg), (0.05mg) 3P	
0.15mg または 0.15g, 0.15mg (原末)	
0.15mg(成分量), 0.15mg (実薬量), 1.5	
0.15mg 原薬量で記載, 0.15(0.15mg)	

用法	件数	
3 x N	14	(以下は件数 1 件のもの)
3 x	7	
3 x n d E	6	
1 日 3 回毎食後	4	
分 3 后	3	
分 3 後	3	
分 3 各食後	2	
3x 毎食後	2	
3 x 食後	2	
3x1	2	
1 日 3 回朝・昼・夕食後	2	
/分 3 食後	2	
/3xnde	2	
/3xn	2	
/3x	2	

毎食後すぐ, 分子毎食後, 分 3 毎食後, 分 3
 分 3 : 朝昼夕食後 30分, 分×3 毎食後
 3 回 : 朝. 昼. 夕食後, 3 x 朝、昼、夕食後
 3 X 各食後, 3x 后, 3x1 毎食後,
 [分 3]1 日 3 回毎食後, / 毎食後
 /分 3 後, /分 3 nde, /分 3, /Nx, /N3x1
 /3 食後, /3x 毎食後, /3 nde, 空欄

【内用頓服薬の処方例】

偏頭痛治療薬のスマトリプタンを原薬量として 50mg を発作時に服用するよう処方したい。
スマトリプタン錠 50mg の製品（製品名：イミグラン錠 50）を 5 回分処方しようとした場合、
処方せんにはどのように記載されますか

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

イミグラン錠 50mg 1錠 痛む時 5回分

薬品名	件数
イミグラン(50)	42
イミグラン錠 50	10
イミグラン(50mg)	6
イミグラン錠(50)	5
イミグラン錠 50mg	5
スマトリプタン(50)	5
イミグラン 50mg	2
イミグラン	1
イミグラン(50mg 錠)	1
イミグラン (錠 50)	1
イミグラン錠 (50mg)	1
イミグラン錠 50 (50mg)	1
イムグラン(50)	1
スマトリプタン (50mg)	1

分量	件数
1T	51
1錠	14
1Tab	3
1回 1T	2
5T	2
1	1
(1T)	1
1C	1
1P	1
1T/1回	1
1Tab/回	1
1回 1錠	1
50mg 1錠	1
5錠	1

回数	件数
5回分	50
/5回分	7
×5回分	6
×(5)	3
×5	3
5回	2
/5T	1
: 5回分	1
×(五)	1
×5P	1
5p	1
G5P	1
g 5 P	1
記載なし	4

【坐剤の処方例】

非ステロイド抗炎症薬のジクロフェナクナトリウム坐薬 50mg（製品名：ボルタレンサポ 50mg）を1回1個で1日2回、朝と夕に食後の使用で7日分を処方しようとした場合、処方せんにはどのように記載されますか

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

ボルタレンサポ50mg 1個 1日2回 朝夕食後 7日分

薬品名	件数	分量	件数
ボルタレンサポ 50mg	19	2個	14
ボルタレンサポ (50mg)	16	1個	11
ボルタレンサポ(50)	15	2ヶ	9
ボルタレン坐(50)	11	1T	7
ボルタレン坐薬(50mg)	4	1ヶ	5
ボルタレン坐(50 mg)	3	2T	5
ボルタレンサポ (50)	2	14個	4
ボルタレン坐 50mg	2	1回1個	2
ボルタレン坐 50mg	2	1個	1
ボルタレン坐薬 50mg	2	(1個)	1
ボルタレン坐薬(50)	2	(2個)	1
ボルタレン (坐) 50mg	1	14本	1
ボルタレン・サポ 50mg	1	1Tab	1
ボルタレン SP 50mg	1	1コ	1
ボルタレン sup(50)	1	1本/回	1
ボルタレン S u p p o	1	2C	1
ボルタレン S u p p o (5 0)	1	2コ	1
ボルタレン坐剤 (5 0 m g / 個)	1	2本	1
外 ボルタレンサポ (50)	1		

【その他の外用薬の処方例】

非ステロイド抗炎症薬のインドメタシンクリーム（製品名：インテバンクリーム）適量を左肩に1日5回塗布で、25g入チューブを2本（総量50g）処方しようとした場合、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

インテバンクリーム 適量 1日5回 左肩に塗布 全量50g

薬品名	件数
インテバンクリーム(25g)	34
インテバンクリーム (25)	12
インテバンクリーム	12
インテバンクリーム 25g	10
インテバンクリーム 25g	5
インドメタシンクリーム 25g	3
インテバンクリーム (25g/本)	3
インテバンクリーム(25mg)	2
インテバンクリーム 1%	1
インテバンクリーム(25g 入)	1
インテバンクリーム(1%25g/本)	1
インテバンクリーム(1%25g)	1
インテバン cr.	1
インテバン Cr 25g	1
インダシンクリーム(25g)	1

分量	件数
2本	66
50g	11
×2本	6
1本	2
(2本)	1
25g×2	1
2p	1

【小児の抗菌薬の処方例】

セフェム系抗生剤のセフジトレンピボキシル（製品名メイアクトMS小児用細粒（100mg力価/g））を力価として180mgを1日3回に分けて処方する場合、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

メイアクトMS小児用細粒10% 0.6g 1日3回 毎食後 7日分

薬品名	件数	分量	件数
メイアクト	20	180mg	75
メイアクトMS小児用細粒	15	1.8	7
メイアクトMS	11	1.8g	5
メイアクト細粒	9	(180mg)	1
記載なし	6	180mg (成分量)	1
メイアクトMS細粒	4	180mg (力価)	1
メイアクトgr	3		
メイアクトMS小児用細粒(100mg/g)	3		
メイアクト(100mg/g)	2		
メイアクト(細)	2		
メイアクトMS(小児用)細粒	2		
メイアクト細	1		
メイアクト(細粒)	1		
メイアクトD.S	1		
メイアクトDS	1		
メイアクトds	1		
メイアクトDS.	1		
メイアクトMS D.S.	1		
メイアクトMs f.g.	1		
メイアクトMS100mg/g	1		
メイアクトMSG(10%)	1		
メイアクトMS細	1		
メイアクト小児用細粒	1		
MeiactMS gr.	1		

【小児坐剤の処方例①】

1歳未満の患児に解熱剤のアセトアミノフェンの坐薬を原薬量として 50mg を1日1回で4日分処方する場合で、採用薬として1個 50mg の規格（製品名：アルピニー坐剤 50）がある場合に、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

アルピニー坐剤50mg 1個 1日1回 4日分

薬品名	件数
アルピニー坐(50)	11
アルピニー(50)	9
アルピニー坐剤 50mg	8
アルピニー坐剤 50	7
アルピニー坐(50mg)	5
アルピニー坐薬(50mg)	5
アルピニー(坐)	3
アルピニー坐 50mg	3
アルピニー坐剤(50mg)	3
アルピニー坐薬(50)	3
アルピニー	2
アルピニー坐	2
アルピニー坐剤 (50)	2
50mg アルピニー坐剤	1
アセトアミノフェン坐薬	1
アルピニー坐材(50)	1
アルピニ(坐 50)	1
アルピニ 50	1
アルピニー(50)座薬	1
アルピニー(坐) 50mg	1
アルピニー (坐薬 50)	1
アルピニー50mg	1
アルピニーSP (50)	1
アルピニーsup(坐薬の略)	1
アルピニーsuppo(50)	1
アルピニーサポ(50)	1
アルピニーザ薬 (50mg)	1
アルピニーズポ(50mg)	1
アルピニー坐 100mg	1
アルピニー坐薬 50mg	1
アルピニー座剤 50mg	1
アルピニー座薬	1
アルピニー座薬 50	1
アルピニー座薬 50mg	1
アルピニ坐(50)	1
アルピニ坐薬 50mg	1

分量	件数
1個	24
1ヶ	9
4個	8
50mg	7
4本	4
1p	3
1T	3
1本	3
4ヶ	3
1回1本	2
50mg/回	2
1	1
(1回1個)	1
(1個)	1
1/2コ	1
1個(1回分)	1
1個分	1
1錠	1
1本/回	1
4コ	1
4包	1
5個	1
記載なし	8

【小児坐剤の処方例②】

前問同様、1歳未満の患児に解熱剤のアセトアミノフェンの坐薬を原薬量として50mgを1日1回で4日分処方する場合で、採用薬として1個100mgの規格（製品名：アルピニー坐剤100）しかなかった場合に、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

アルピニー坐剤100mg 1/2個 1日1回 4日分

薬品名	件数	分量	件数
アルピニー坐(100)	14	1/2 個	14
アルピニー坐剤100mg	9	1/2 ケ	8
アルピニー(100)	8	4 個	8
アルピニー坐剤100	7	1 個	5
アルピニー坐(100mg)	4	1/2 本	4
アルピニー坐100mg	4	1 ケ	3
アルピニー(坐)100mg	3	1 回 1/2 個	3
アルピニー坐薬(100mg)	3	0.5 個	2
アルピニー坐剤(100)	2	1/2	2
アルピニー坐剤(100mg)	2	1/2P	2
アルピニー座薬100mg	2	1/2T	2
100mg アルピニー坐剤	1	1/2 コ	2
アセトアミノフェン100mg	1	1 回 1/2 ケ	2
アセトアミノフェン坐薬(100mg)	1	1 回 1/2 本	2
アルピニ 100mg	1	1 日 1/2 個	2
アルピニ(100 坐)	1	2 ケ	2
アルピニ 100	1	4 本	2
アルピニー(100)座薬	1	(1/2 個)	1
アルピニー(坐薬 100)	1	(1 回半分)	1
アルピニー100mg	1	(50mg)	1
アルピニーSp(100)	1	(使用時 1/2 コ)	1
アルピニーsup(坐薬の略)	1	0.5 個(1 回分)	1
アルピニーsuppo(100mg)	1	0.5 錠	1
アルピニーサポ(100)	1	1/2 2/回	1
アルピニーザ薬(100mg)	1	1/2 個	1
アルピニーズポ(100mg)	1	1/2 個使用	1
アルピニー坐	1	1/2 本 /回	1
アルピニー坐剤	1	1T	1
アルピニー坐薬(100)	1	1 回 1/2 個使用	1
アルピニー坐薬(50)	1	1 個 1 回 1/2	1
アルピニー坐薬100mg	1	1 本	1
アルピニー座剤	1	2 本	1
アルピニー座薬50	1	4p	1
アルピニ坐(50)	1	4 ケ	1
アルピニ坐薬100mg	1	4 コ	1
アンピニー(100)	1	50mg	1
アンピニー坐(100)	1	5 個	1

【小児内用液剤の処方例】

抗ヒスタミン薬の酒石酸アリメマジンシロップ（製品名：アリメジンシロップ（0.5mg/mL））を原薬量として3mgを1日3回に分けて3日分毎食後に処方する場合、処方せんにはどのように記載されますか？

【参考：研究班提案する標準案（1回量）での記載例】

アリメジンシロップ（0.5mg/mL） 2 mL 1日3回毎食後 3日分

薬品名	件数
アリメジンシロップ	47
アリメジンS y	17
アリメジンシロップ(0.5mg/ml)	5
アリメジン（S y）	4
アリメジン	3
アリメジン syr	3
アリメジンS	2
アリメジンシロップ 0.5mg/ml	2
アリメジン s p	1
アリメジン Srp	1
アリメジン sy 6ml	1
アリメジンシロップ（0.5%）	1

分量	件数
6ml	67
3mg	13
（3mg）	2
3 mg（成分量）	2
6cc	2
（6 ml）	1
15.0	1
6mg	1

